

間近の力士に感動

川 口

高齢者施設で餅つき

川口市安行の介護老人保健施設グリーンビレッジ安行(高瀬通汪施設長、入所者150人)に、さいたま市中央区の大相撲「入間川部屋」の磋牙司(さがつかさ)さん(35)と勇司(ゆうつかさ)さん(20)が訪れ、お年寄りたちと一緒に餅をついた。間近に見た力士にお年寄りたちは感動、握手して涙を流す姿も見られた。

餅つきは、2人がデイケアでも力士は人気者。磋牙司さんの人たちが入所者フロアなどに支えられ一緒にキネを持つて餅をついた福島ヨシさん



お年寄りと餅つきをする入間川部屋の磋牙司さん(左)と勇司さん=川口市安行のグリーンビレッジ安行

(98)は「こいつのは初めて。うれしいね。立派な力士だ」と泣いて喜んだ。

2人はお年寄りたちの質問にも応じた。「どうして相撲の道を？」の質問に、磋牙司さんは「サッカーより相撲の方が練習は短くて、コーチが優しくかった。ところがプロに入ったらけいこは長いし親方は厳しい」と笑いを誘った。勇司さんは「子どものころから力士が夢だった」と話した。

宮崎勝子さん(71)は「磋牙司さんは、交通事故で42歳で亡くなった弟に似ている。だからもつと応援したい」。富田宏さん(75)は「ユーモアもあるね。素晴らしい力士たちだ」と2人を褒めた。

磋牙司さんは「泣いてくれて、僕たちをつれしがつてくれた。元気をあげられたと思うと、僕らもつれしいです」。勇司さんは「元気いっぱいのお年寄りを見て、逆にパワーをいただきました」と話した。「また来ます」と言う2人にお年寄りたちは手を振り、拍手で見送った。